

治安等に関するアンケート結果
(第6回目：平成22年3月実施)

平成22年4月

鹿児島県警察本部 

治安等に関するアンケート

1 アンケートの目的

鹿児島県の治安等に関する県民の皆様の意識を調査することにより、「安全に安心して暮らせる鹿児島の創造」に向けた警察行政を推進する上での基礎資料とするもの

2 アンケート項目

- (1) 鹿児島県の治安について
- (2) 犯罪に関する情報について
- (3) 安全で安心なまちづくりについて
- (4) 子どもの安全対策について
- (5) 交番・駐在所について
- (6) 交番相談員について

3 アンケートの対象

県政モニター 199人

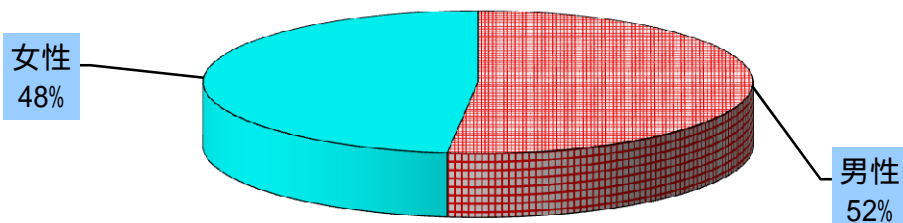
4 アンケートの実施時期

平成22年3月

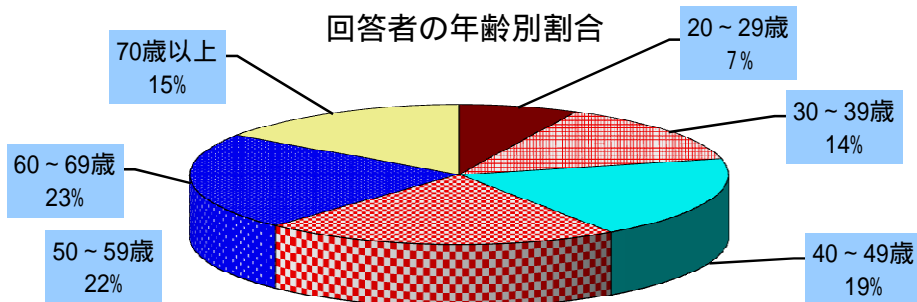
5 回答結果

- (1) 回答者 168人(男性 87人, 女性 81人)
- (2) 回答率 84.4パーセント

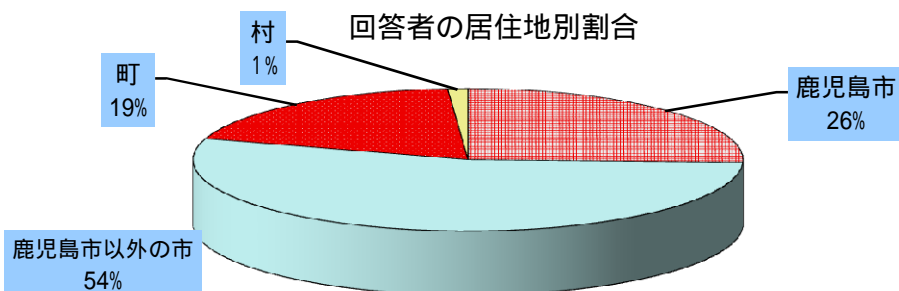
回答者の男女



回答者の年齢別割合



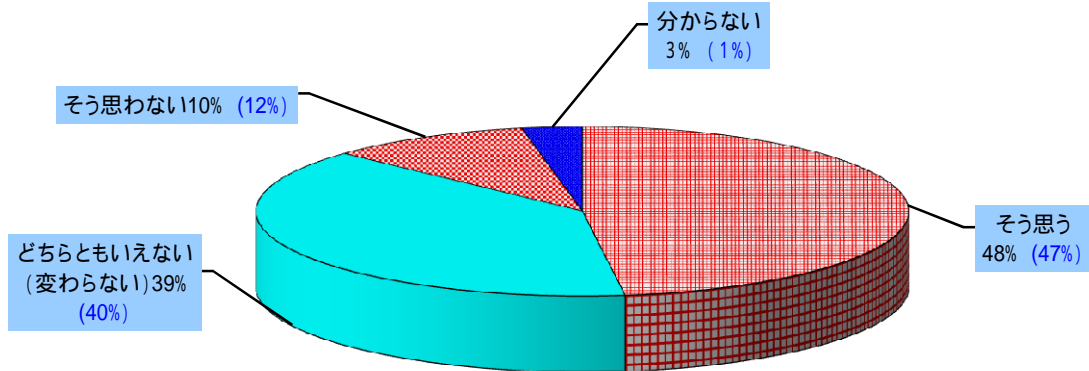
回答者の居住地別割合



1 鹿児島県の治安について

()は、前回アンケート結果(平成21年1月実施)

問1 あなたは、現在の鹿児島県が治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思いますか。

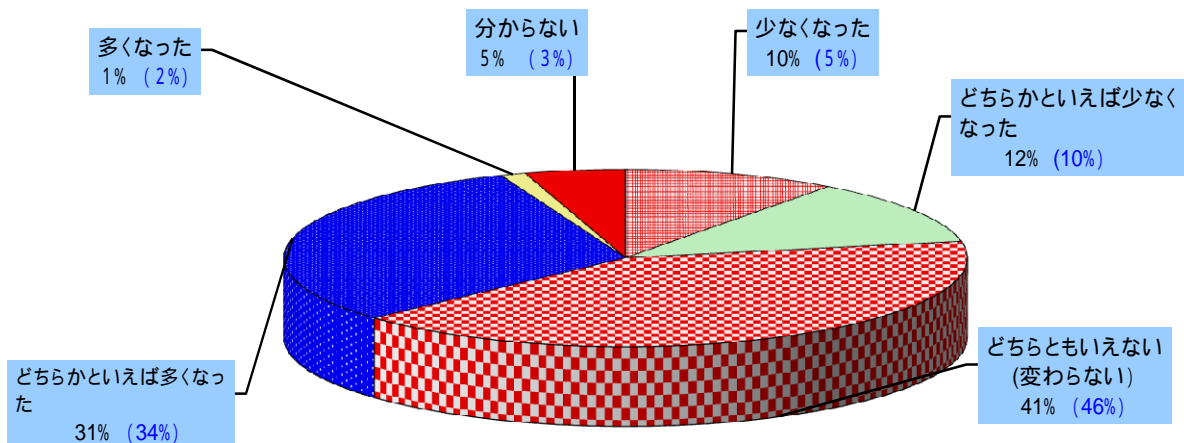


分析結果

「現在の鹿児島県が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思う」と回答した方は48%であり、前回の調査時より1ポイント増加し、また「どちらともいえない」と回答した方は39%と前回の調査時より1ポイント減少した。

その一方で、「そう思わない」と回答した方は10%と前回の調査時より2ポイント減少した。

問2 あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。



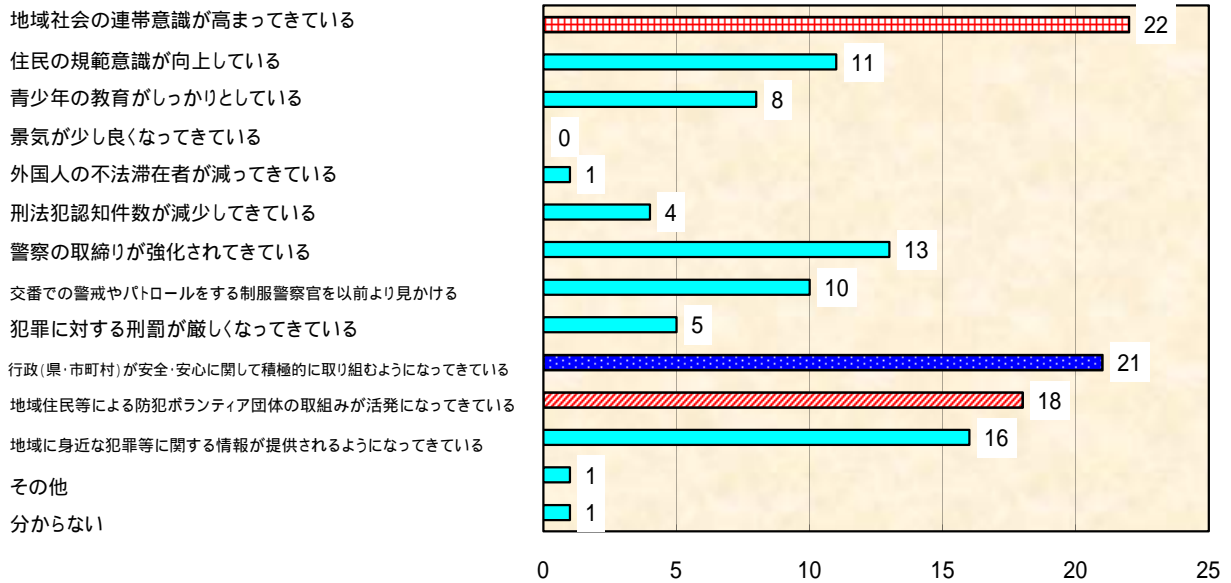
分析結果

「あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方が22%であり、前回の調査時より7ポイント増加した。

また、「多くなった」又は「どちらかといえば多くなった」と回答した方は32%と前回の調査時より4ポイント減少した。

更問 不安になることが少なくなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

～ 問2で「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方への再質問

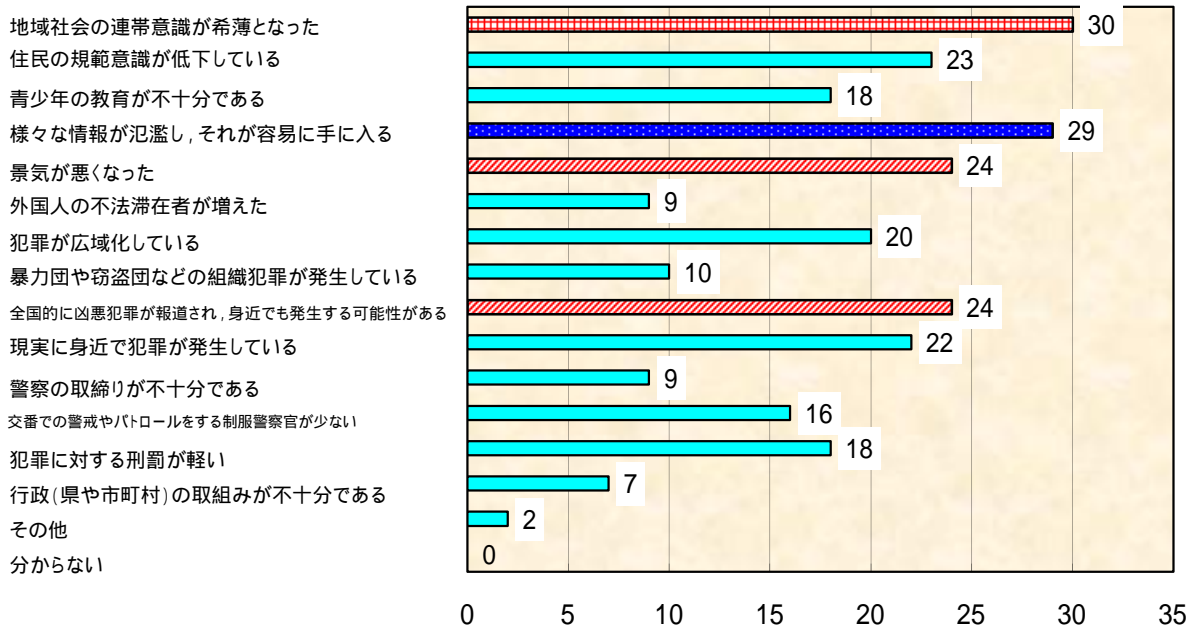


分析結果

「ここ1年間で犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「地域社会の連帯意識が高まってきている」、「行政(県や市町村)が安全、安心に関して積極的に取り組むようになってきている」の順に意見が多い。

更問 不安になることが多くなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

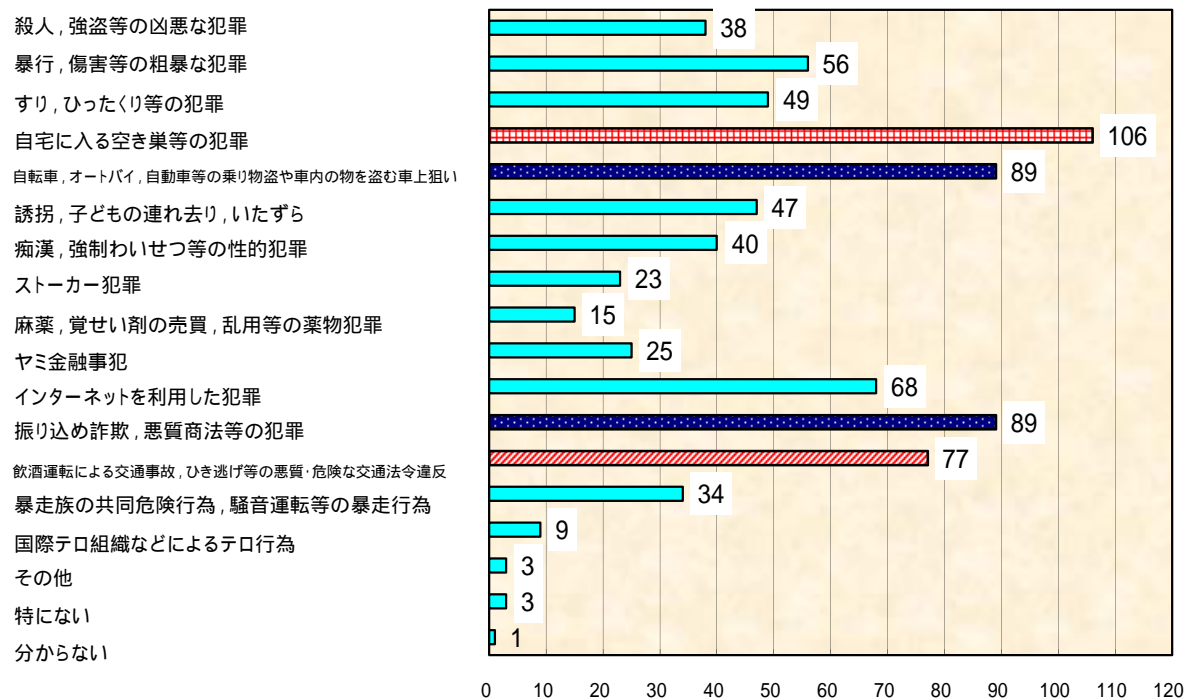
～ 問2で「どちらかといえば多くなった」又は「多くなった」と回答した方への再質問



分析結果

「ここ1年間で犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について「どちらかといえば多くなった」又は「多くなった」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「地域社会の連帯意識が希薄となった」、「様々な情報が氾濫しそれが容易に手に入る」、「景気が悪くなった」、「全国的に凶悪犯罪が報道され、身近でも発生する可能性がある」の順に意見が多い。

問3 あなたが、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪は何ですか。
(複数回答可) ~ 問2で「どちらかといえば多くなった」又は「多くなった」と回答した方への再質問

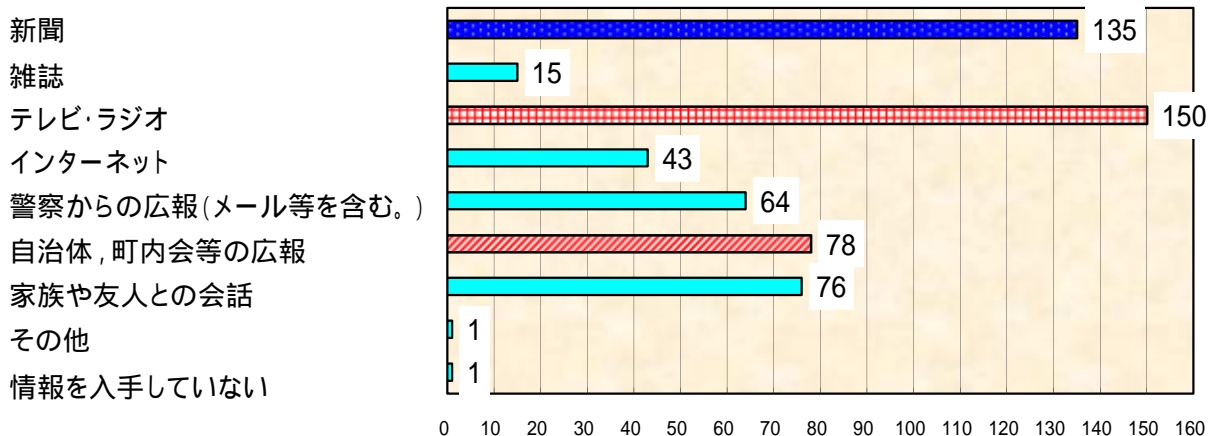


分析結果

自分や身近な人が、犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪について、多くの方が「自宅に入る空き巣等の犯罪」、「自動車、オートバイ、自転車等の乗り物盗や車内の物を盗む車上狙い」、「振り込め詐欺、悪質商法等の犯罪」等と回答している。

2 犯罪に関する情報について

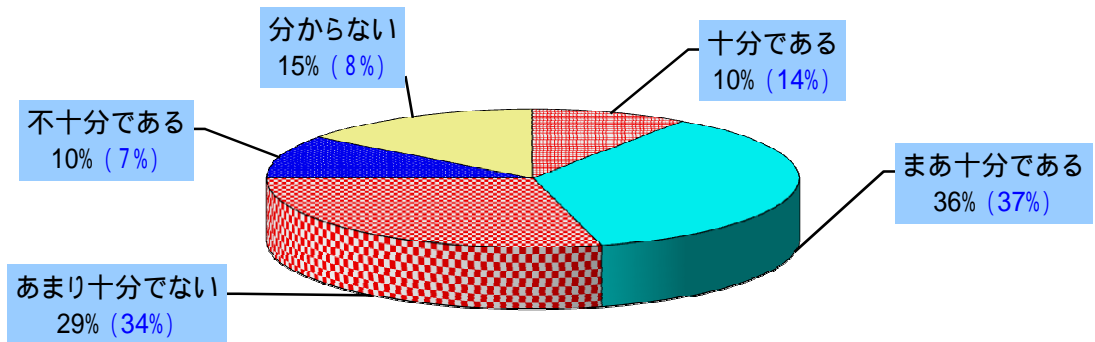
問4 あなたは、どのような方法で治安や犯罪に関する情報を入手していますか。
(複数回答可)



分析結果

治安や犯罪に関する情報の入手方法については、テレビ・ラジオ、新聞によると回答した方が多い。

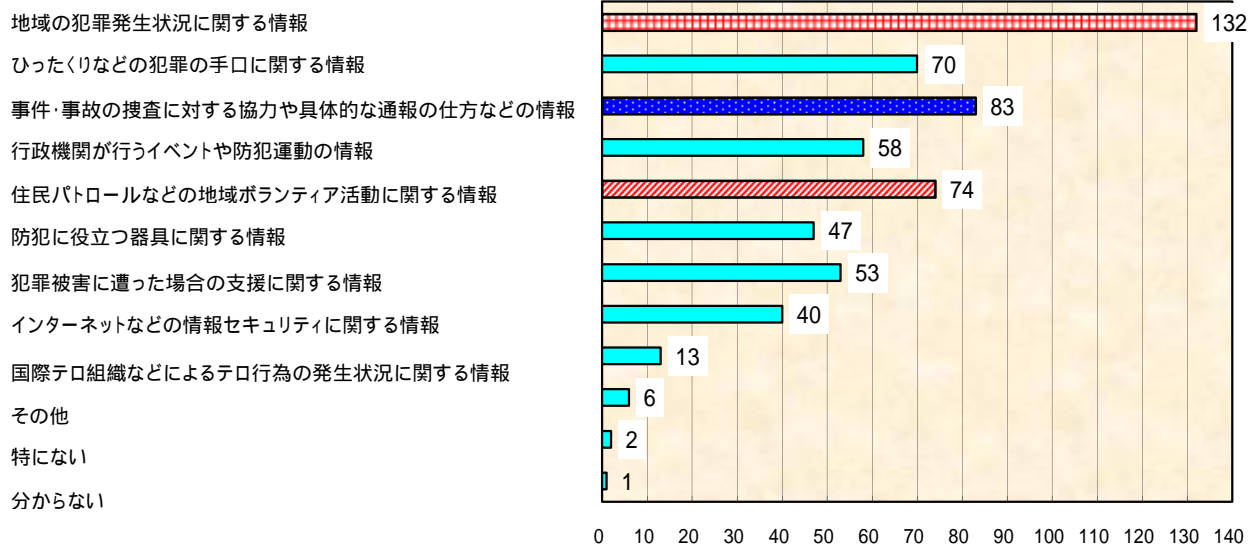
問5 あなたは、警察及び自治体からの治安や犯罪に関する情報提供は十分であると思



分析結果

警察や自治体からの治安情報等の提供について、「十分である」又は「まあ十分である」と回答した方は46%で、前回の調査時より5ポイント減少し、「不十分である」又は「あまり十分でない」と回答した方は39%で、前回の調査時より2ポイント減少している。

問6 あなたは、治安や犯罪に関する情報として、どのようなものが提供されたら良いと思いますか。(複数回答可)

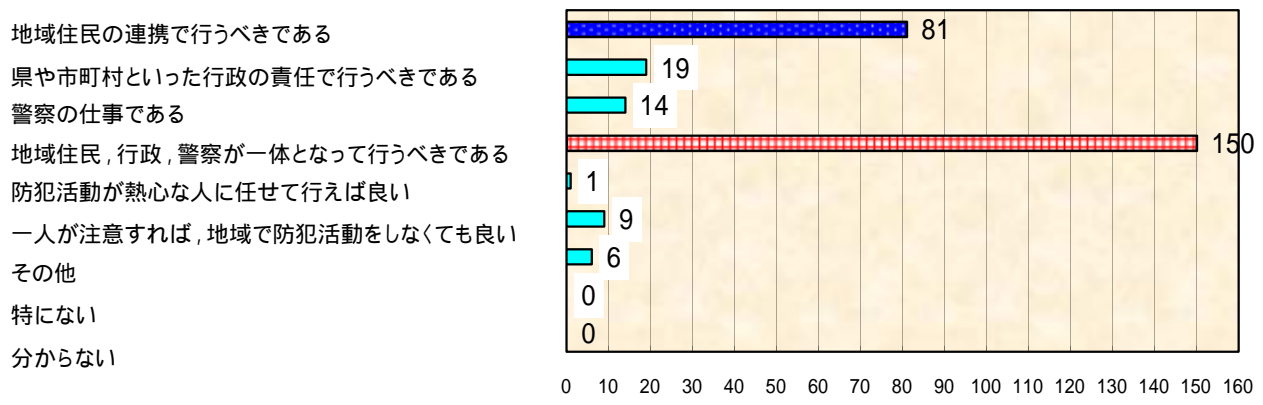


分析結果

県民が警察や自治体に提供を求める情報については、「地域の犯罪発生状況に関する情報」という意見が最も多い。

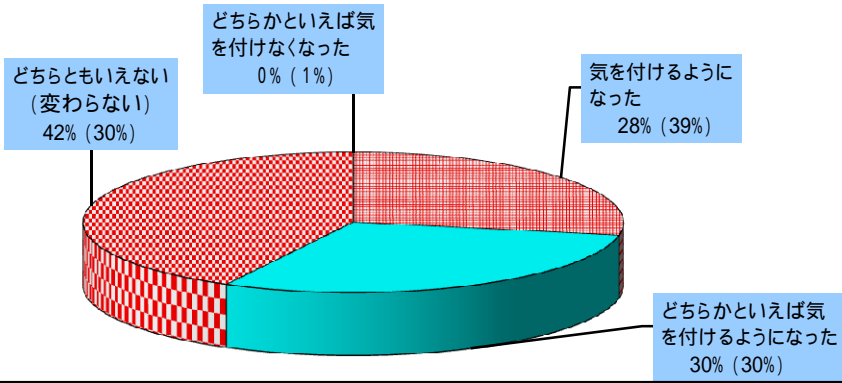
3 安全で安心なまちづくりについて

問7 安全で安心なまちづくりを行うために、あなたの考え方に近いものはどれですか。



分析結果
 大半の方が「地域住民、行政、警察が一体となって行うべきである」と回答している。

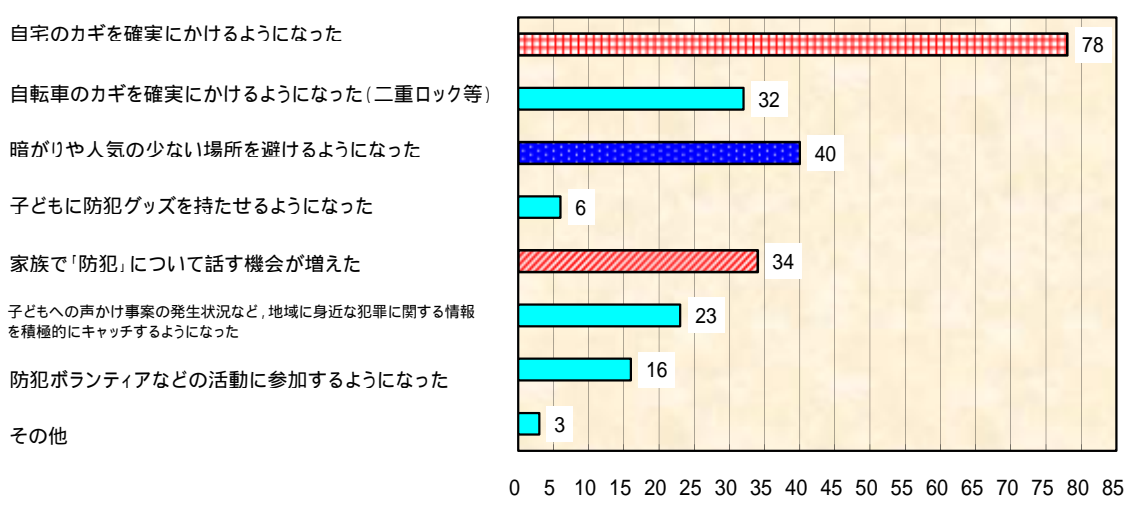
問8 あなたは、ここ1年間で「防犯」ということに気をつけるようになりましたか。



分析結果
 58%の方が、ここ1年間で防犯ということに「気を付けるようになった」又は「どちらかといえば気を付けるようになった」と回答している。「どちらかといえば気を付けなくなった」又は「気を付けなくなった」と回答した方はいない。

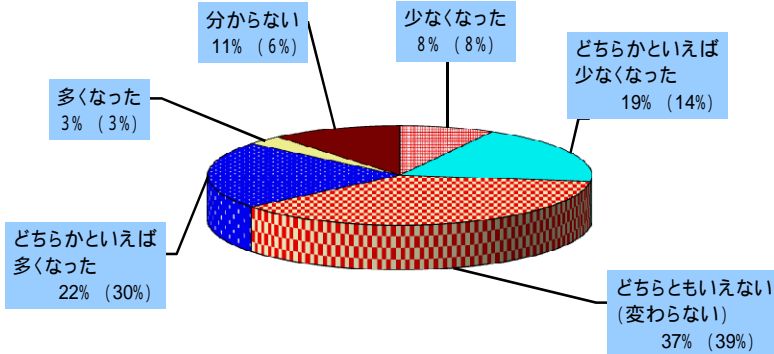
更問 どのような点に気を付けるようになりましたか。(複数回答可)

～ 問8で「気を付けるようになった」又は「どちらかといえば気を付けるようになった」と回答した方への再質問



4 子どもの安全対策について

問9 ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子どもたちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思



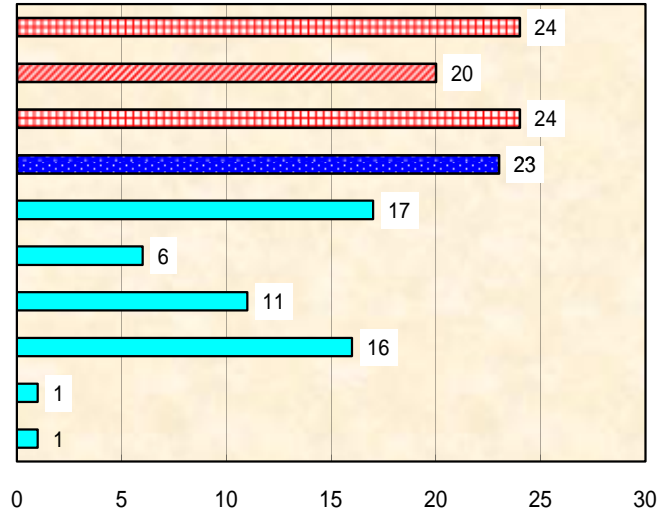
分析結果

「ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子どもたちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方は27%と、前回の調査時より5ポイント増加し、「多くなった」又は「どちらかといえば多くなった」と回答した方が25%で、前回の調査時より8ポイント減少している。

更問 少なくなった原因は何だと思ひますか。(複数回答可)

～ 問9で「少なくなった」又は「どちらかといえは少なくなった」と回答した方への再質問

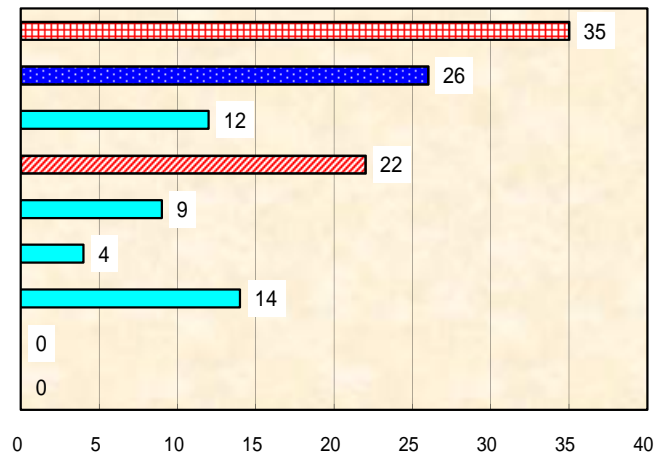
- 登下校時間帯に青色防犯パトロール活動等が活発に行われている
- 地域の子どもの安全に対する意識が高まりつつある
- 子どもの安全に対する学校や自治体の取組みが活発になってきている
- 子どもの登下校時間帯の、警察官や交番相談員による通学路のパトロールが強化されている
- 学校や地域で、子どもの安全対策に関する防犯教室が開かれている
- 県警あんしんメール等により、不審者情報等がタイムリーに提供されている
- スクールサポーターの配置や地域安全マップの作成など子どもの安全対策が進んでいる
- 子どもたち自身の安全に対する意識が高まってきている
- その他
- 分らない



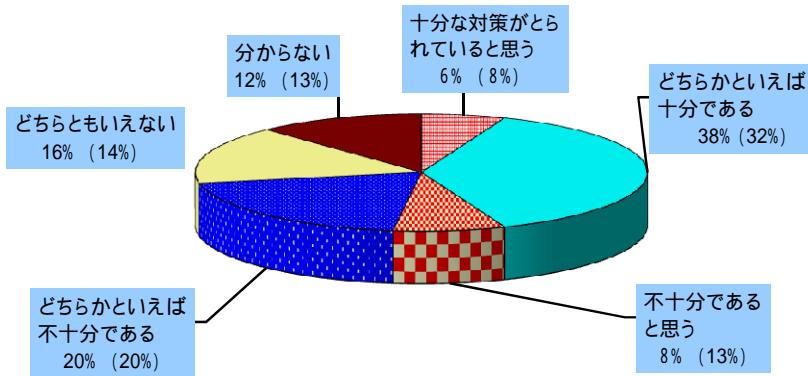
更問 多くなった原因は何だと思ひますか。(複数回答可)

～ 問9で「多くなった」又は「どちらかといえは多くなった」と回答した方への再質問

- テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられる
- 地域のつながりが弱く、近所の住民の顔をよく知らない
- 子どもが習い事などで遅く帰ることがある
- 子どもが一人で登下校することがある
- 近所で子どもが巻き込まれた事件が発生した
- 学校や地域で子どもの安全対策に関する防犯教室がほとんど開かれていない
- 登下校時間帯に警察官がパトロールしているのを見かけない
- その他
- 分らない



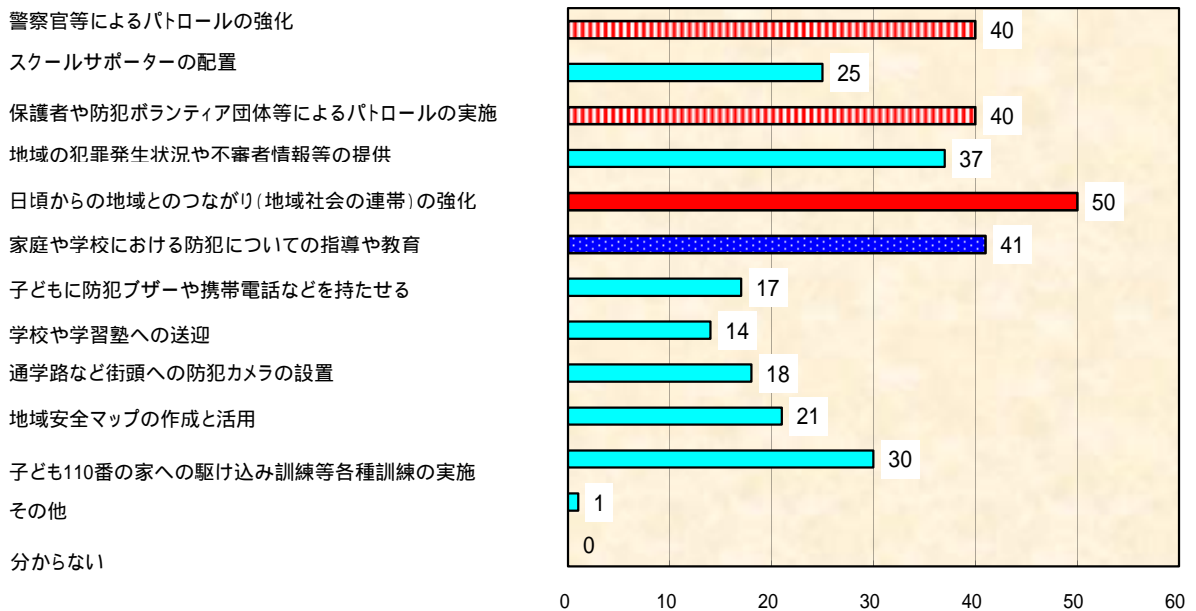
問10 あなたは、子どもの安全対策についてどう思いますか。



分析結果

子どもの安全対策について、「十分な対策がとられていると思う」又は「どちらかといえば十分である」と回答した方が44%であり、前回の調査時より4ポイント増加し、「不十分である」又は「どちらかといえば不十分である」と回答した方は28%であり、前回の調査時よりも5ポイント減少している。

更問 子ども安全対策には何が必要だと思われますか。(複数回答可)

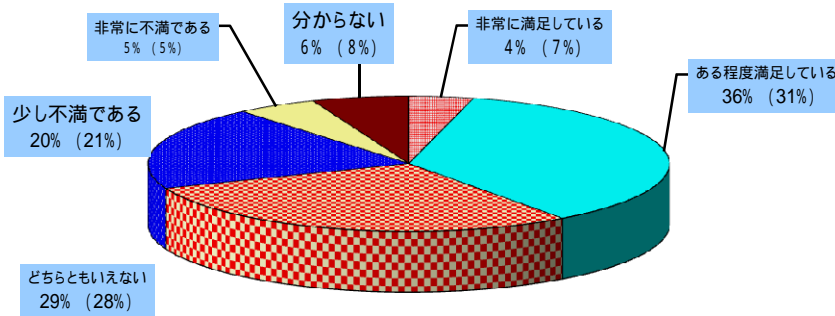


分析結果

多くの方が、子どもの安全対策として「日頃からの地域とのつながり(いわゆる地域社会の連帯)の強化」、「家庭や学校における防犯についての指導や教育」、「警察官等によるパトロールの強化」、「保護者や防犯ボランティア団体等によるパトロールの実施」等が必要であると回答している。

5 交番・駐在所について

問11 あなたは、近くの交番・駐在所の警察官の活動について、満足していますか。

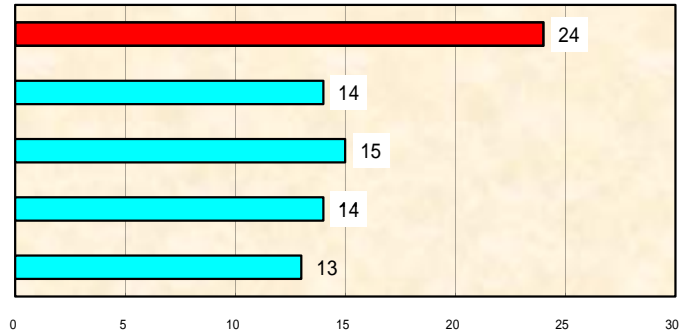


分析結果

近くの交番・駐在所の警察官の活動について、「非常に満足している」又は「ある程度満足している」と回答した方が40%で、前回の調査時より2ポイント増加し、「少し不満である」又は「非常に不満である」と回答した方が25%で、前回の調査時より1ポイント減少している。

更問 不満である理由は何ですか。(複数回答可)

- パトロールしている姿を見ない
- 家庭訪問(巡回連絡)に来ない
- 交番・駐在所が不在になることが多い
- 届出や相談などへの対応が不十分である
- その他

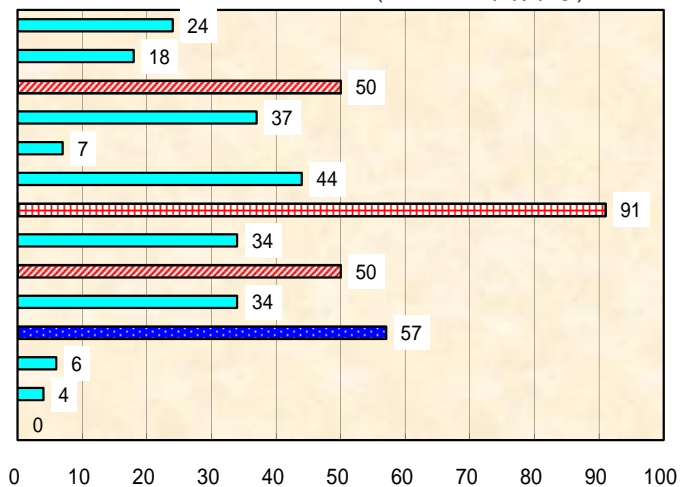


分析結果

警察官の活動に対して不満を感じる理由については、「パトロールしている姿を見ない」という意見が最も多い。

問12 あなたは、今後、交番・駐在所の警察官にどのような活動を特に強化してほしいと思いますか。(三つまで回答可)

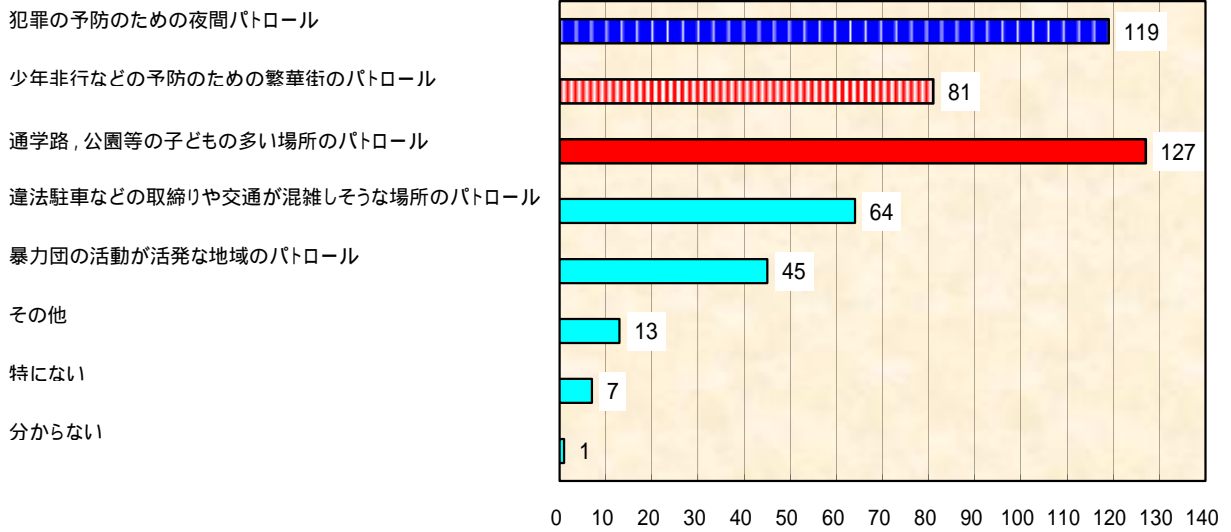
- 110番通報に対する対応
- 被害届、遺失物・拾得物の届出への対応
- 身近な犯罪の検挙(犯人の逮捕など)
- 交通違反の取締りや交通安全指導
- 負傷者、家出人、酔っぱらい等への対応
- 交番・駐在所の活動内容や犯罪の予防等についての情報提供
- パトロール
- 家庭訪問(巡回連絡)
- 住民の困りごと、意見・要望等の聴取、住民に対する助言
- 交番・駐在所における警戒(警察官の常駐)
- 地域の防犯ボランティア等との連携(合同パトロール等)
- その他
- 特にない
- 分からない



分析結果

警察官に特に強化してほしい活動については「パトロール」という意見が最も多い。

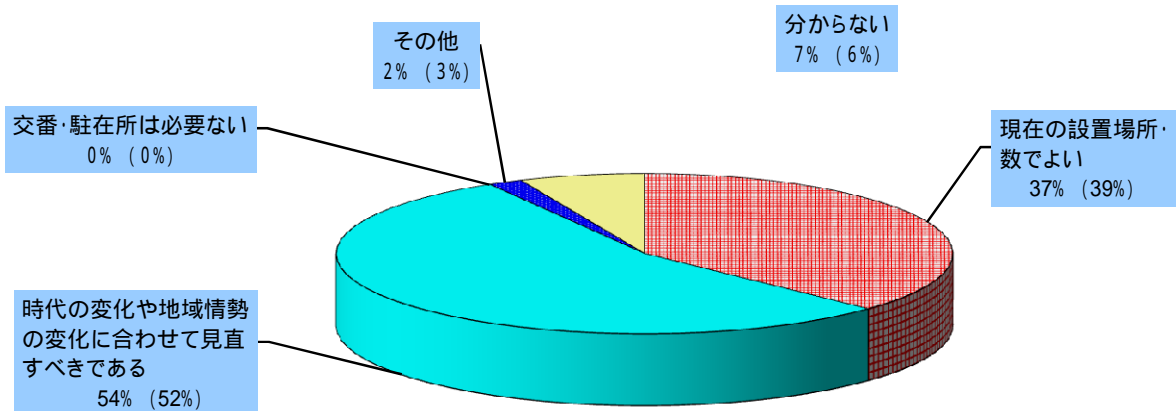
問13 あなたは、警察官がパトロールを行う際、どのような時間帯や場所を重点的に行えばよいと思いますか。



分析結果

警察官がパトロールを行う際の時間帯や場所について、多くの方が「通学路、公園等の子どもの多い場所のパトロール」、「犯罪の予防のための夜間パトロール」と回答している。

問14 現在の交番・駐在所の設置場所や数は適切であると思いますか。

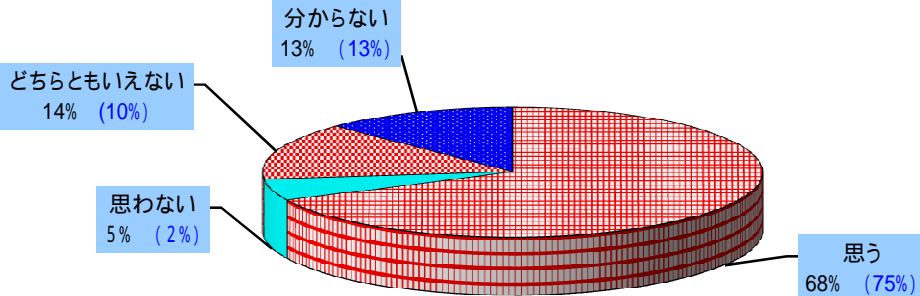


分析結果

交番・駐在所の設置場所や数について、4割弱の方が「現在の設置場所・数でよい」と回答しているのに対し、5割を超える方が「時代の変化や地域情勢の変化に合わせて見直すべきである」と回答している。

6 交番相談員について

問15 警察官がパトロールなどで交番にいないときでも、交番を訪れた住民に対応することができるように交番相談員を交番に配置しています。
あなたは、交番相談員が交番にいることは住民へのサービスにつながっていると思いますか。



分析結果

「交番相談員の配置が住民へのサービスにつながっていると思う」と回答した方が68%であり、前回の調査時より7ポイント減少している。

問16 あなたは、今後、交番相談員にどのような活動を強化してほしいと思いますか。
(複数回答可)

住民の困りごと、意見、要望等の聴取、住民に対する助言

犯罪の予防、災害事故の防止等についての住民への指導・連絡・広報

被害届・遺失物・拾得物の届出への対応

事件・事故発生時の警察官等への連絡

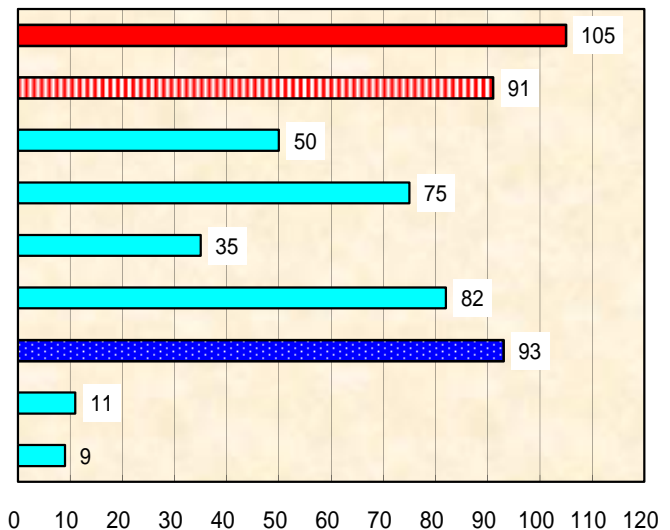
地理案内

防犯ボランティアとの連携

子どもの登下校時間帯の学校や通学路、遊び場における警戒活動

その他

分からない



分析結果

交番相談員に強化してほしい活動について、多くの方が「住民の困りごと・意見・要望等の聴取、住民に対する助言」、「子どもの登下校時間帯の学校や通学路、遊び場における警戒活動」、「犯罪の予防、災害事故の防止等についての住民への指導・連絡・広報」と回答している。